



Arcserve Replication / High Availability 18.0

ライセンスガイド



ライセンスガイド - Windows 環境 -



1. 購入するライセンスの数

基本的な考え方：

Arcserve Replication / High Availability のライセンス数 = マスタとレプリカサーバ（ノード）数の合計

Arcserve Replication / High Availability ではエンジンをインストールするノード、つまり保護対象となるマスタサーバと複製先となるレプリカサーバの合計数だけライセンスが必要です。

役割が重複している場合（あるシナリオではマスタであり、あるシナリオではレプリカである、など）でも、サーバの数が1台であれば、ノードは1としてカウントされます。

コントロールサービスや Arcserve RHA PowerShell の使用にライセンスは必要ありません。

尚、ファイルサーバ内のデータを別のディスクや外付けのハードディスク、NAS などの外部ディスク装置へ複製する場合は、

1 ライセンスのみで利用することができます。

この方法を以後「シングルサーバレプリケーション」と呼びます。

クラスタ環境の場合の考え方：

Arcserve Replication / High Availability のライセンス数 = レプリケーション対象となるクラスタリソースグループ数の合計

Windows Server Failover Clustering (WSFC) の環境で Arcserve Replication / High Availability を利用する場合には、複製元や複製先として指定するクラスタ リソース グループの合計数分の RHA ライセンスが必要です。クラスタ環境に導入するライセンスは全て Enterprise です。



2. ライセンスの種類

ライセンスには以下の3種類あります。

1. Standard
2. Enterprise
3. Virtual Machine

どのライセンスが必要かは OS のエディションと利用環境によって異なります。

Linuxは、Enterprise、Standard の区別がありません。

物理環境 : Server 仮想環境 : Virtual Machine ^(※) にご利用ください。

※

Virtual Machine ライセンスは仮想環境のゲストOS上にエンジンをインストールした場合に必要なライセンスです。

この場合、ゲスト OS のエディションによらず、すべて Virtual Machine ライセンスが適用されます。

対応するOS、アプリケーションについては、[8-2. 動作要件詳細](#)からリンクする動作要件をご確認ください

プラットフォーム (OS、エディション)	Arcserve Replication / HA 18.0		
	Standard	Enterprise	Virtual
Windows Server 2022			
Windows Server 2022 Standard Edition	○		
Windows Server 2022 Datacenter Edition		○	
Windows Server 2022 Cluster (WSFC)		○	
Windows 2022 IoT for Storage	○		
Windows Server 2019			
Windows Server 2019 Standard Edition	○		
Windows Server 2019 Datacenter Edition		○	
Windows Server 2019 Cluster (WSFC)		○	
Windows 2019 IoT for Storage	○		
Windows Server 2016			
Windows Server 2016 Standard Edition	○		
Windows Server 2016 Datacenter Edition		○	
Windows Server 2016 Cluster (WSFC)		○	
Windows Storage Server 2016 Workgroup Edition	○		
Windows Storage Server 2016 Standard Edition	○		
Windows Server 2012/2012 R2			
Windows Server 2012/2012 R2 Standard Edition	○		
Windows Server 2012/2012 R2 Datacenter Edition		○	
Windows Server 2012/2012 R2 Cluster (WSFC)		○	
Windows Storage Server 2012/2012 R2 Workgroup Edition	○		
Windows Storage Server 2012/2012 R2 Standard Edition	○		
Windows Server 2008 R2			
Windows Server 2008 R2 Standard Edition	○		
Windows Server 2008 R2 Datacenter Edition		○	
Windows Server 2008 R2 Cluster (WSFC)		○	
Windows Storage Server 2008 R2 Basic Edition	○		
Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup Edition	○		
Windows Storage Server 2008 R2 Standard Edition	○		
Windows Storage Server 2008 R2 Enterprise Edition		○	
Virtual Environment			
Microsoft Hyper-V Server (on Guest)			○
VMware Virtualization (on Guest)			○
Citrix XenServer (on Guest)			○
KVM (on Guest)			○



3. ライセンスの順位

Arcserve Replication / High Availability のライセンスは、以下のように順位が決められており、上位ライセンスを下位の環境に適用することが可能です。

Enterprise > Standard > Virtual Machine

例えば、Enterprise ライセンスはクラスタ環境および Standard 、仮想環境でも利用することができます。逆に Virtual Machine ライセンスは物理環境では利用することができません。

※ Linuxは、Enterprise、Standard の区分けがありません。

Server / Virtual Machine を環境に合わせて導入してください

4. ライセンスの登録先

ライセンスの登録はすべてコントロール サービスで行います。

管理対象となる全シナリオに含まれるノード数でライセンス数が管理されています。

各ノードに個別にライセンス登録をする必要はありません。



5. 保護対象アプリケーションのライセンス

本番サーバの障害時、レプリカサーバを本番サーバの代替機として使う場合には、レプリカサーバに保護対象のアプリケーション（Microsoft SQL Server など）をインストールしておく必要があります。

この際、レプリカサーバ用にアプリケーションのライセンスを追加購入する必要があるかどうかは以下の前提事項を元に各アプリケーション ベンダーにお問い合わせください。

- 1.本番環境の複製となるサーバを設置すること
- 2.レプリカ サーバに対象となるアプリケーションのインストールを行うこと
- 3.レプリカ サーバの対象アプリケーションは障害時の切り替え運用を除きウォームスタンバイ（OS は起動しているが
- 4.アプリケーションのサービスは停止している状態）であること

6. レプリケーション対象の共有フォルダ

Arcserve Replication はネットワーク上の共有フォルダをレプリケーション元^(※) およびレプリケーション先に指定する事ができます。このとき複製元および複製先として指定できるのはネットワークストレージ専用機器（NAS）上のフォルダに限ります。

※ スケジューリングモードを使用する場合に限りです。



7. 製品ラインナップと含まれる機能等の違い

Arcserve Replication / High Availability 18.0 では、お客様の多様化するレプリケーションのニーズに対応できるように、柔軟な製品ラインナップをご用意しています。

特にメンテナンス付きのファイルサーバ専用版 Arcserve Replication と Arcserve High Availability は好評をいただいています。各製品ラインナップの機能等の違いは以下の通りです。

製品	プラットフォーム	無停止テスト	DB サポート	メンテナンス		
ファイルサーバ専用 *1	レプリケーション (パッケージ)	×	×	×		
	レプリケーション (ライセンスプログラム)	×	×	◎		
	ハイアベイラビリティ (ライセンスプログラム)	×	×	◎		
標準版	レプリケーション	Standard	◎	◎	◎	
		Enterprise	◎	◎	◎	
		Virtual Machines	1 ライセンス	◎	◎	◎
			5 ライセンスパック	◎	◎	◎
			VM Protection per Host License *2	◎	◎	◎
		ハイアベイラビリティ	Standard	◎	◎	◎
	Enterprise		◎	◎	◎	
	Virtual Machines		1 ライセンス	◎	◎	◎
			5 ライセンスパック	◎	◎	◎
			VM Protection per Host License *2	◎	◎	◎

*1 ファイルサーバ専用版は「2. ライセンスの種類」で Standard に分類される OS 上でのみご利用いただけます。

*2 VM Protection per Host License は、仮想ホスト単位のライセンスで、仮想ホスト上の仮想マシンの数に制限はありません。



8. 動作要件

8-1. 主な動作要件

Arcserve Replication / High Availability 18.0 は以下の OS 上での動作をサポートしています。

Microsoft Windows Server 2008 R2

Microsoft Windows Storage Server 2008 R2

Microsoft Windows Server 2012 /2012 R2

Microsoft Windows Storage Server 2012 / 2012 R2

Microsoft Windows Server 2016

Windows Storage Server 2016

Microsoft Windows Server 2019

Windows 2019 IoT for Storage

Microsoft Windows Server 2022

Windows 2022 IoT for Storage

8-2. 動作要件詳細

Arcserve Replication / High Availability 18.0 ご利用にあたり、動作要件に記載されている OS およびサービスパック、累積パッチ（またはそれに順ずるもの）をサポート対象とします。

最新の OS、アプリケーションへの対応状況については弊社 WEB ページ（以下）でご確認ください。

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-RHA-18-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja>



9. サポート対象外の機能

Arcserve Replication / High Availability 18.0 では、日本国内でサポートされていない機能もございます。詳細は 以下注意制限事項に掲載されていますので、事前に必ずご確認ください。

<https://support.arcserve.com/s/article/2019042202?language=ja>



10. ライセンス構成一覽 (1)

カテゴリ	No.	ライセンス構成の概要
Arcserve Replication		
一般的な構成	1	1 サーバ内でレプリケーション (シングルサーバレプリケーション)
	2	1 対 1 のレプリケーション
	3	N 対 1 のレプリケーション (マスタサーバが複数台ある構成)
	4	1 対 N のレプリケーション (レプリカサーバが複数台ある構成)
	5	アプリケーション (SQL) が稼働している場合のレプリケーション
	6	Windows のエディションが Enterprise/Datacenter Edition の場合
クラスタ環境で使用	7	クラスタからスタンドアロンサーバへのレプリケーション
	8	クラスタからスタンドアロンサーバへのレプリケーション (リソースグループが複数の場合)
仮想 / クラウド環境で使用	9	物理サーバ対仮想 OS のレプリケーション
	10	仮想 OS が 5 ノードの場合のレプリケーション
	11	仮想 OS が複数の場合のレプリケーション
	12	Hyper-V シナリオでHyper-V 仮想マシンのレプリケーション)
	13	フルシステム シナリオでレプリケーション (VMware ESXi 環境)
	14	フルシステム シナリオでレプリケーション (Microsoft Hyper-V 環境)
	15	Amazon EC2 にレプリケーション
	16	Microsoft Azure にレプリケーション



10. ライセンス構成一覧 (2)

Arcserve High Availability		
一般的な構成	17	1 対 1 のスイッチオーバー
	18	アプリケーション (Oracle) が稼働している場合のスイッチオーバー
クラスタ環境で使用	19	クラスタからスタンドアロンサーバへのスイッチオーバー
仮想 / クラウド環境で使用	20	Hyper-V シナリオで Hyper-V 仮想マシンのスイッチオーバー
	21	フルシステム シナリオでスイッチオーバー (VMware ESXi 環境)
	22	フルシステム シナリオでスイッチオーバー (Microsoft Hyper-V 環境)
	23	フルシステム シナリオでスイッチオーバー (Microsoft Azure 環境)
Arcserve Replication と Arcserve Backup の連携		
連携	24	レプリケーションしたデータをテープやディスクにバックアップ

Arcserve Replication - 一般的な構成



[1] 1サーバ内でレプリケーション (シングルサーバ レプリケーション)

環境例：Windows Server (Standard) 1台

要件例：Windows ファイルサーバのファイルを1つのサーバ内で複製する



[2] 1 対 1 のレプリケーション

環境例：Windows Server (Standard) 2台

要件例：Windows ファイルサーバのファイルを複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard OS for File Server	1

Point :
最小構成であり、マスタ サーバに保存されるファイルを同一サーバ内のディスク、外付けハードディスク、または NASなどに複製します。
1 ライセンスのみで構成が可能です

製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard OS for File Server	2

Point :
最も基本的な構成です。
マスタ サーバに保存されるファイルをレプリカサーバに複製します。

Arcserve Replication - 一般的な構成

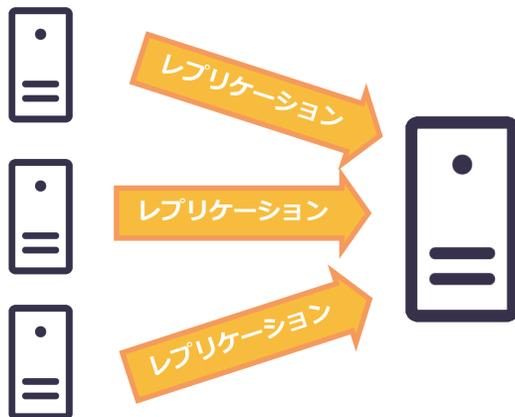


[3] N 対 1 のレプリケーション (マスタサーバが複数台ある構成)

環境例：Windows Server (Standard)

4台

要件例：Windows ファイル サーバのファイルを複製して1台に集約する

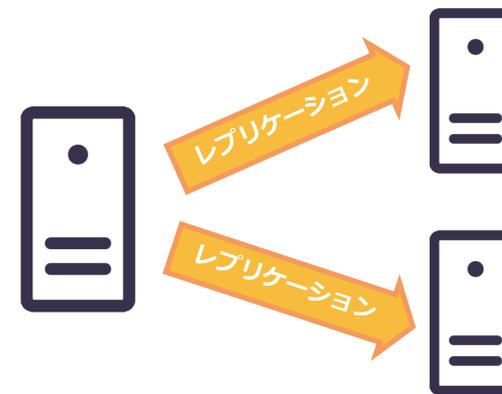


[4] 1 対 N のレプリケーション (レプリカサーバが複数台ある構成)

環境例：Windows Server (Standard)

3台

要件例：Windows ファイル サーバのファイルを複数のレプリカサーバに複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard OS for File Server	4

Point :
複数台のファイル サーバのデータを 1 台のレプリカ サーバに集約して保護する構成です。
マスタ サーバのノード数とレプリカ サーバのノード数分のライセンスが必要です。

製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard OS for File Server	3

Point :
マスタ サーバのデータを複数のサーバに複製し、データを多重に保護します。
マスタ サーバのノード数とレプリカ サーバのノード数分のライセンスが必要です。

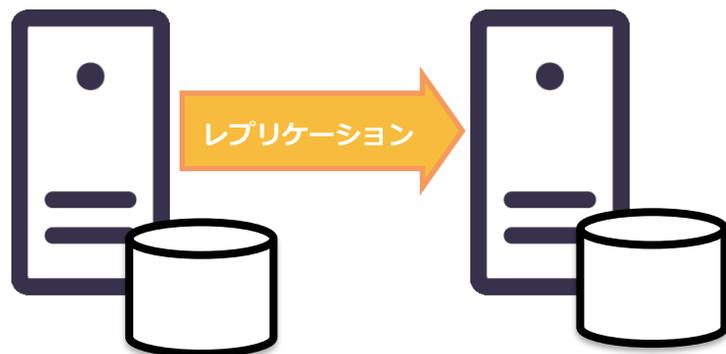
Arcserve Replication - 一般的な構成



[5] アプリケーション (SQL) が稼働しているサーバのレプリケーション

環境例：Windows Server (Standard) 2台
Microsoft SQL Server

要件例：Windows 上の Microsoft SQL Server のデータベースを稼働させたまま複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard	2

Point :
マスタ サーバで稼働する Microsoft SQL Server のデータベースをレプリカ サーバに複製します。この際、必要なライセンスは OS のエディションに依存します。

* この構成には標準版製品の購入が必要です。
ファイル サーバ専用版はご利用できません。

[6] Windowsのエディションが Enterprise / Datacenter の場合

環境例：Windows Server (Enterprise / Datacenter) 2台

要件例：Windows ファイルサーバのファイルを複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Enterprise	2

Point :
Windows OS のエディションが Enterprise / Datacenter Edition の場合、Enterprise OS ライセンスを使用します。

* この構成には標準版製品の購入が必要です。
ファイル サーバ専用版はご利用できません。

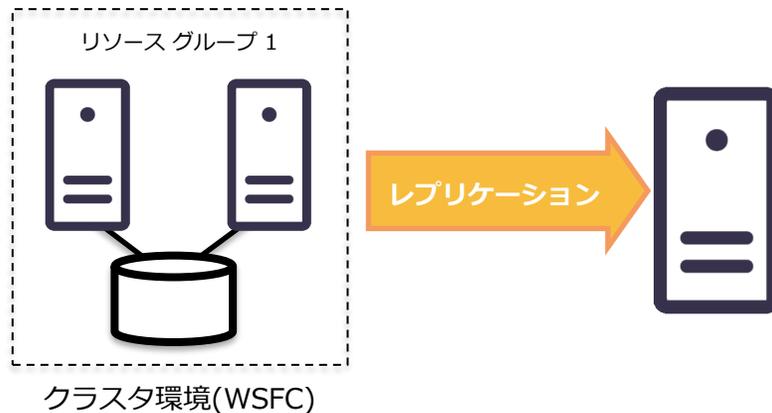
Arcserve Replication - クラスタ環境で使用



[7] クラスタからスタンドアロンサーバへのレプリケーション

環境例 : Windows Server WSFC 1台
Windows Server (Standard) 1台

要件例 : WSFC クラスタ環境で、リソースグループ (ファイルサーバ) 上のデータをスタンドアロンサーバへ複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Enterprise (マスタ)	1
Arcserve Replication Standard (レプリカ)	1

Point :

WSFC (Windows Server Failover Clustering) で構成されているクラスタのデータをレプリケーションする場合、マスタとするリソースグループ数と同数の Enterprise ライセンスが必要です。

この際、クラスタ構成ノードの OS エディションは問いません。

* クラスタ リソース グループにはファイルサーバ専用版ライセンスを利用できませんが、レプリカサーバ側が Standard OS のスタンドアロン サーバであれば、複製先にはファイルサーバ専用版ライセンスを利用できます。

* クラスタ構成ノードが仮想マシンである場合は、クラスタ リソース グループ用に Virtual Machine ライセンスを利用できます。

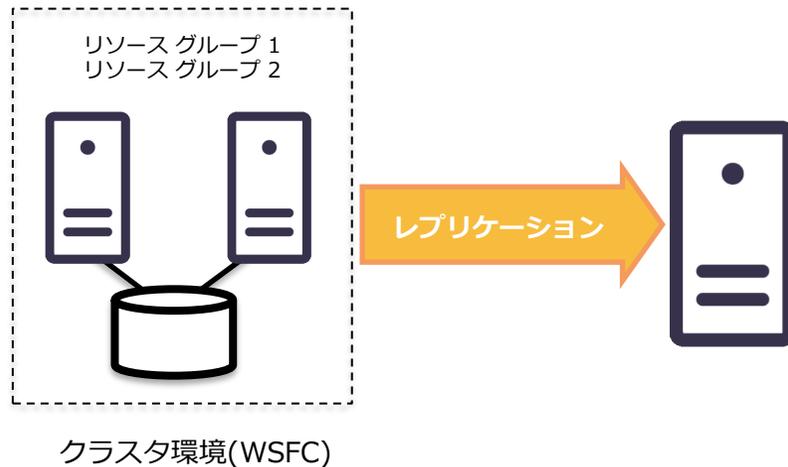
Arcserve Replication - クラスタ環境で使用



[8] クラスタからスタンドアロンサーバへのレプリケーション (リソースグループが複数の場合)

環境例 : Windows Server WSFC 1台
Windows Server (Standard) 1台

要件例 : WSFCクラスタ環境で、複数のリソースグループ (ファイルサーバ) 上のデータをスタンドアロンサーバへ複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Enterprise (マスタ)	2
Arcserve Replication Standard (レプリカ)	1

Point :

複製対象のクラスタ リソース グループが複数ある場合、対象のリソースグループ数と同数の Enterprise ライセンスが必要です。
レプリカのスタンドアロンサーバ側はOSのエディションに応じて適切なライセンスを選択します。

* クラスタ構成ノードが仮想マシンである場合は、クラスタリソースグループに Virtual Machines ライセンスを利用できます。

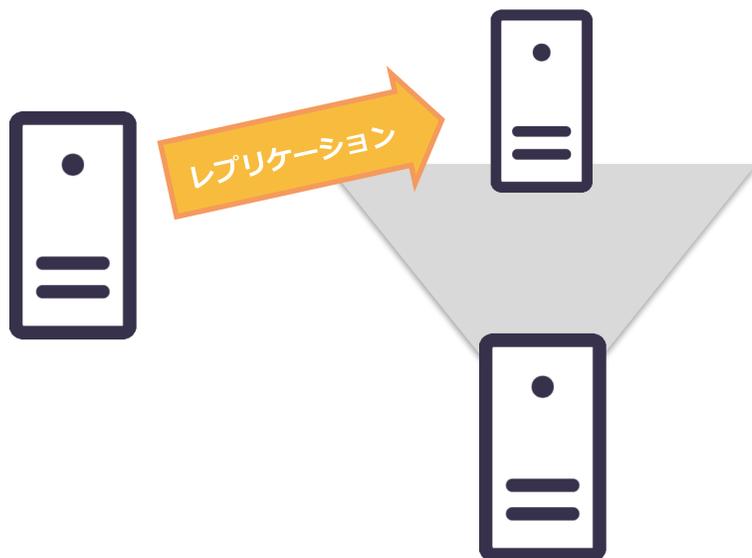
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[9] 物理サーバ 対 仮想マシンのレプリケーション

環境例 : Windows Server (Standard) 1台
Windows 仮想マシン 1台

要件例 : Windowsサーバ上のデータを、VMware ESXi 上で稼動する仮想ゲストマシン(Windows)に複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard	1
Arcserve Replication Virtual Machines	1

Point :
Virtual Machineライセンスは、VMware、Hyper-V、KVM 上の仮想 OS に Arcserve Replication を導入する際に適用できるライセンスです。

この構成例では物理サーバに対しては、OS のエディションに応じたライセンス、仮想 OS に対しては Virtual Machine ライセンスがそれぞれ必要になります。

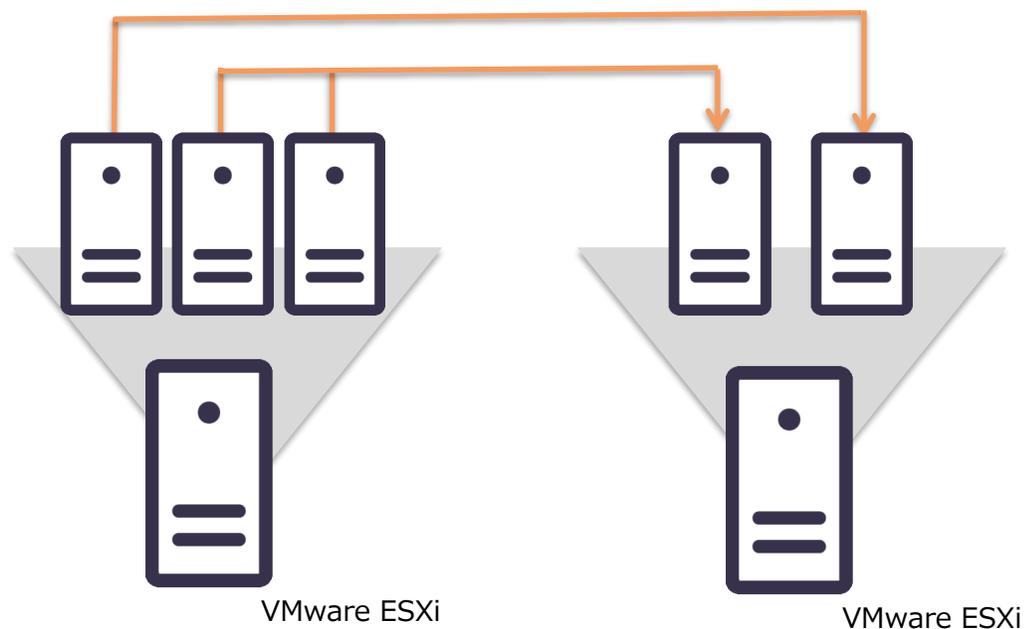
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[10] 仮想マシンが5ノードの場合のレプリケーション

環境例：マスタおよびレプリカとなる Windows 仮想マシン 5台

要件例：VMware ESXi 上で稼動するWindows サーバ上のデータを、
VMware ESXi 上で稼動するゲストマシンに複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Virtual Machines 5 pack	1

Point :
仮想マシンに対しては、5ノード分のライセンスを、3ノード分の価格で購入できる Virtual Machines 5 pack がお得です。

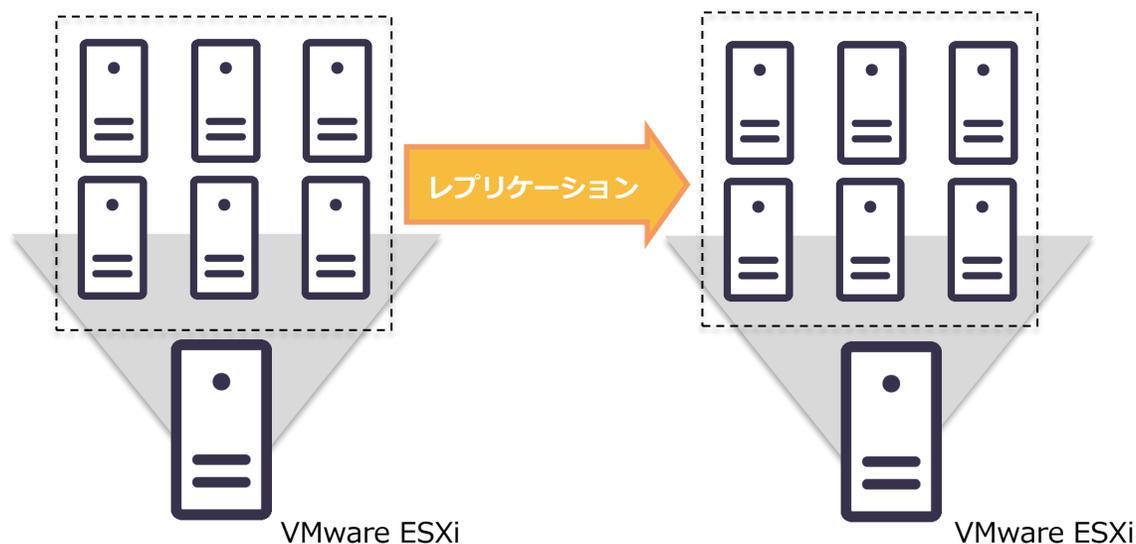
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[11] 仮想マシンが複数の場合のレプリケーション

環境例：マスタサーバ上の Windows 仮想マシン 6台
レプリカサーバ上の Windows 仮想マシン 6台

要件例：VMware ESXi 上で稼動するゲストマシンを、
別筐体の VMware ESXi 上で稼動する仮想マシンに複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Virtual Machines per Host License	2

Point :

VM Protection per Host License は仮想マシンの数ではなく、ホストサーバの数に対して課金されるライセンス体系です。
1台のホストサーバに6台以上の仮想マシンが存在している場合は、VM Protection per Host License をご購入いただいたほうが、仮想マシン毎にライセンスを購入するよりお得です。

VMware HA、vMotion、Hyper-V ライブマイグレーションなど、ホストクラスタ構成を組んでいる場合は、仮想マシンが移動するホストの数だけライセンスが必要です。

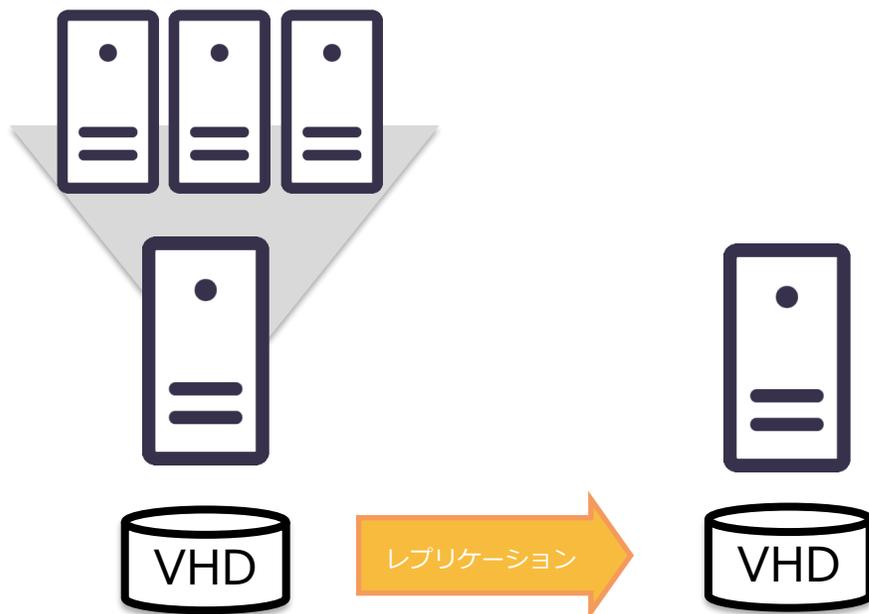
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[12] Hyper-V シナリオでHyper-V仮想マシンのレプリケーション

環境例： Windows Server (Standard) 2台
(マスタサーバ/レプリカサーバは Hyper-V ホストマシン)

要件例： Hyper-V で稼動する Windows 仮想マシンを別筐体の Hyper-V に複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard	2

Point :

Hyper-V シナリオで、Hyper-V 仮想マシンを丸ごと複製します。
仮想マシンの数ではなく、ホストサーバ（管理 OS / 親パーティション）の数だけライセンスを購入します。
また、必要なライセンスは、ホストサーバの OS エディションによって決まります。

* この構成には標準版製品が必要です。
ファイルサーバ専用版やVirtual Machines ライセンスはご利用できません。

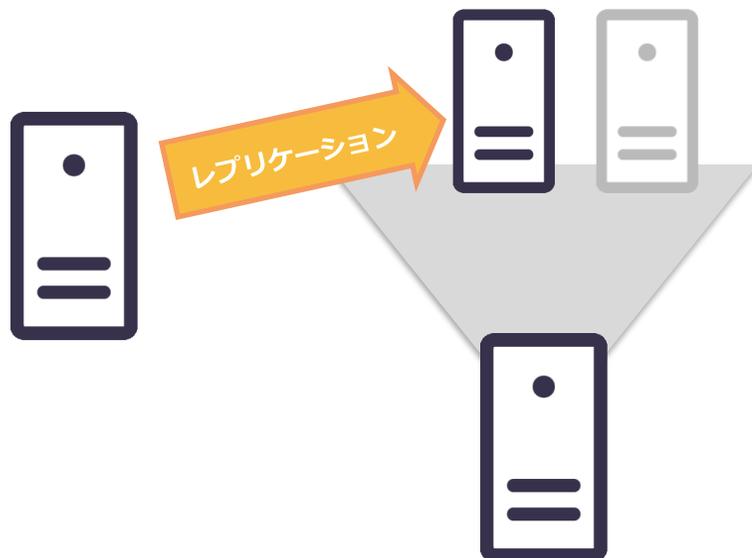
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[13] フルシステム シナリオのレプリケーション (VMware ESXi 環境)

環境例 : Windows Server (Standard) 1台
Windows 仮想アプライアンス 1台

要件例 : フルシステム シナリオで物理環境のWindowsサーバをVMware ESXi 上に復元する
VMware ESXi 上の仮想アプライアンスにデータをリアルタイムに複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard	1
Arcserve Replication Virtual Machines	1

Point :

フルシステム シナリオで、マスタサーバを丸ごと複製します。
VMware ESXi 上に Windows 仮想アプライアンスを構築し、その仮想アプライアンスに Arcserve RHA エンジンモジュールをインストールするため、仮想アプライアンスにもライセンスが必要になります。

* この構成には標準版製品が必要です。
ファイルサーバ専用版はご利用できません。

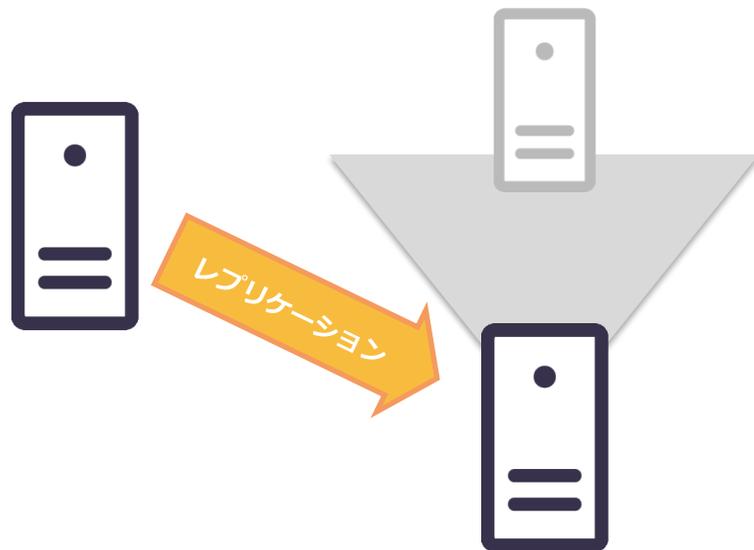
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[14] フルシステム シナリオのレプリケーション (Hyper-V 環境)

環境例 : Windows Server (Standard) 2台
(レプリカサーバは Hyper-V ホストマシン)

要件例 : フルシステム シナリオで物理環境の Windows サーバを Hyper-V
ホスト上に復元する
Hyper-V ホストにデータをリアルタイムで複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard	2

Point :
フルシステム シナリオで、マスタサーバを丸ごと複製します。
Hyper-V 環境の場合、Windows 仮想アプライアンスは不要で、Hyper-Vホストに
Arcserve RHA エンジンモジュールをインストールします。

* この構成には標準版製品が必要です。
ファイルサーバ専用版はご利用できません。



Arcserve Replication - クラウド環境で使用

[15] Amazon EC2 にレプリケーション

環境例 : Windows Server (Standard) 1台
 Amazon EC2 仮想マシン 1台

要件例 : Windows ファイルサーバのファイルを複製する



Amazon EC2

[16] Microsoft Azure にレプリケーション

環境例 : Windows Server (Standard) 1台
 Microsoft Azure 仮想マシン 1台

要件例 : Windows ファイルサーバのファイルを複製する



Microsoft Azure

製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard for File Server	1
Arcserve Replication Virtual Machines	1

製品名	ライセンス数
Arcserve Replication Standard for File Server	1
Arcserve Replication Virtual Machines	1

Point :
 Amazon EC2 上の仮想マシンにデータをレプリケーションします。
 仮想マシンは Windows の Edition を問わず、Virtual Machines ライセンスをご利用いただけます。

Point :
 Microsoft Azure 上の仮想マシンにデータをレプリケーションします。
 仮想マシンは Windows の Edition を問わず、Virtual Machines ライセンスをご利用いただけます。

Arcserve High Availability - 一般的な構成



[17] 1 対 1のスイッチオーバー

環境例：Windows Server (Standard)

2台

要件例：Windows ファイル サーバのファイルを複製して、
マスタサーバ障害時にはレプリカサーバに切り替える

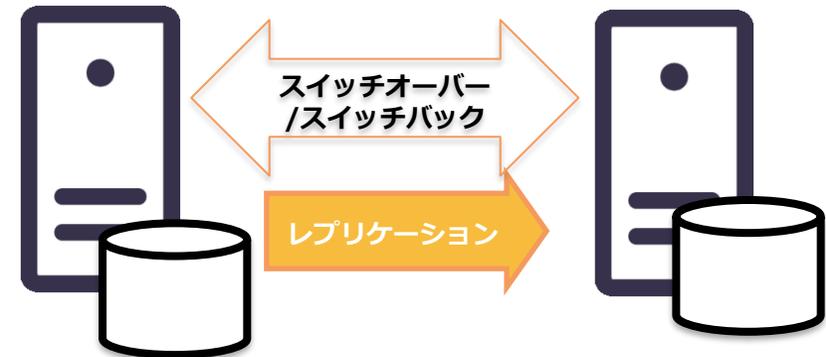


[18] アプリケーション (Oracle) が稼動している場合の スイッチオーバー

環境例：Windows Server (Standard)
Oracle Database

2台

要件例：Windows 上の Oracle のデータベースを稼動させたまま複製する
マスタサーバ障害時にはレプリカサーバに切り替える



製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability Standard for File Server	2

Point :
スイッチオーバー機能を使用するには Arcserve High Availability を購入します。

製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability Standard	2

Point :
マスタサーバで稼動する Oracle Database をレプリカサーバに複製します。
必要なライセンスは OS のエディションによって決まります。

* この構成には標準版製品の購入が必要です。
ファイルサーバ専用版はご利用できません。

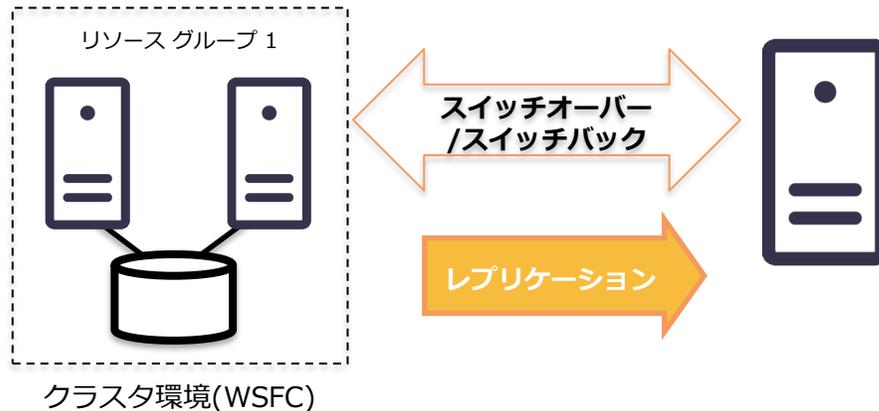
Arcserve High Availability - クラスタ環境で使用



[19] クラスタからスタンドアロンサーバへの スイッチオーバー

環境例 : Windows Server WSFC 1台
Windows Server (Standard) 1台

要件例 : WSFC クラスタ環境で、リソースグループ (ファイルサーバ) 上のデータを
スタンドアロンサーバへ複製し、クラスタサーバ障害時には、自動的に
レプリカサーバへ切り替える



製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability Enterprise (マスタ)	1
Arcserve High Availability Standard (レプリカ)	1

Point :

WSFC (Windows Server Failover Clustering) で構成されているクラスタのデータをレプリケーションする場合、マスタとするリソースグループ数と同数の Enterprise ライセンスが必要です。
この際クラスタ構成ノードの OS エディションは問いません。

- * クラスタ リソース グループにはファイルサーバ専用版ライセンスを利用できませんが、レプリカサーバ側が Standard OS のスタンドアロン サーバであれば、複製先にはファイルサーバ専用版ライセンスを利用できます。
- * クラスタ構成ノードが仮想マシンである場合は、クラスタ リソース グループ用に Virtual Machine ライセンスを利用できます。

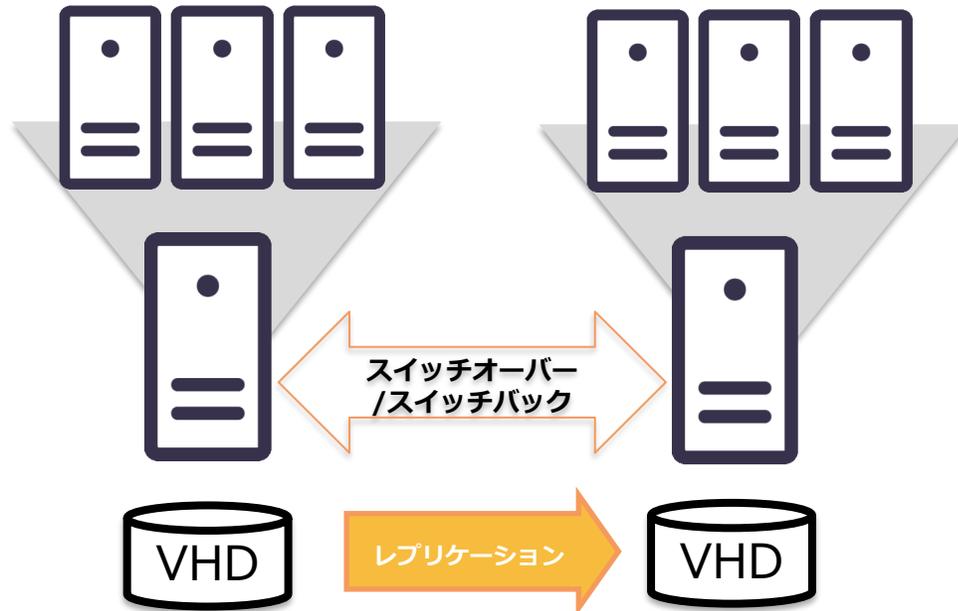
Arcserve High Availability - 仮想環境で使用



[20] Hyper-V シナリオで Hyper-V 仮想マシンの スイッチオーバー

環境例：Windows Server (Enterprise / Datacenter) 2台
(マスタサーバ/レプリカサーバは Hyper-V/Hyper-V 上の仮想マシン)

要件例：Hyper-V ホスト上で稼動する仮想マシンを複製し、マスタサーバ上の
仮想マシンに障害が発生した場合は、レプリカ上の仮想マシンに
切り替える



製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability Enterprise	2

Point :

Hyper-V シナリオで、Hyper-V 仮想マシンを丸ごと複製します。マスタサーバ障害時には、レプリカサーバに複製された仮想マシンが起動します。仮想マシンの数ではなく、ホストサーバ（管理 OS / 親パーティション）の数だけライセンスを購入します。また、必要なライセンスは、ホストサーバの OS エディションによって決まります。

* この構成には標準版製品が必要です。
ファイルサーバ専用版や Virtual Machines ライセンスはご利用できません。

Arcserve High Availability - 仮想環境で使用



[21] フルシステム シナリオでスイッチオーバー (VMware ESXi 環境)

環境例 : Windows Server (Standard) 1台
仮想アプライアンス 1台

要件例 : フルシステム シナリオで物理環境のWindowsサーバをVMware ESXi 上に復元する
VMware ESXi 上の仮想アプライアンスにデータをリアルタイムに複製する。
物理環境Windowsサーバ障害時にスイッチオーバーでVMware ESXi 上に仮想マシンとして起動



製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability Standard	1
Arcserve High Availability Virtual Machines	1

Point :

フルシステム シナリオで、マスタサーバを丸ごと複製します。
VMware ESXi 上に Windows 仮想アプライアンスを構築し、その仮想アプライアンスにArcserve RHA エンジンモジュールをインストールするため、仮想アプライアンスにもライセンスが必要になります。

* この構成には標準版製品が必要です。
ファイルサーバ専用版はご利用できません。

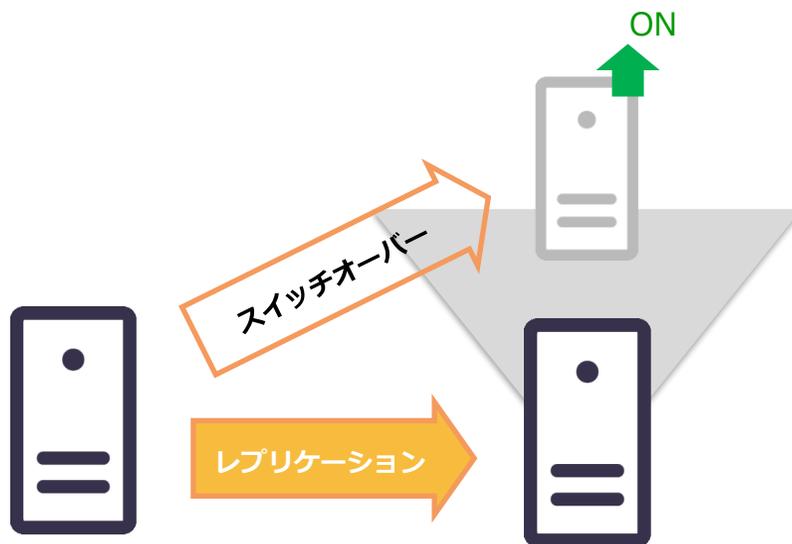
Arcserve High Availability - 仮想環境で使用



[22]フルシステム シナリオでスイッチオーバー (Hyper-V 環境)

環境例 : Windows Server (Standard) 2台
(レプリカサーバはHyper-V ホスト)

要件例 : フルシステム シナリオで物理環境の Windows サーバを Hyper-V上に復元する
Hyper-V ホストにデータをリアルタイムで複製する。
物理環境 Windows サーバ障害時にスイッチオーバーで Hyper-V 上に仮想マシンとして起動



製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability Standard	2

Point :
フルシステム シナリオで、マスタサーバを丸ごと複製します。
Hyper-V 環境の場合、Windows 仮想アプライアンスは不要で、Hyper-Vホストに Arcserve RHA エンジンモジュールをインストールします。

* この構成には標準版製品が必要です。
ファイルサーバ専用版はご利用できません。

Arcserve High Availability - クラウド環境で使用



[23] フルシステム シナリオでスイッチオーバー (Microsoft Azure 環境)

環境例 : Windows Server (Standard) 1台
Windows 仮想アプライアンス 1台

要件例 : Windows サーバをフルシステムシナリオで、Microsoft Azure 上に復元する
Microsoft Azure 上の Windows 仮想アプライアンスにデータをリアルタイムに複製する
物理環境Windowsサーバ障害時にスイッチオーバーで Microsoft Azure 上に仮想マシンとして起動



製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability Standard	1
Arcserve High Availability Virtual Machines	1

Point :
フルシステム シナリオで、マスタサーバを丸ごと複製します。
Microsoft Azure上に Windows 仮想アプライアンスを構築し、その仮想アプライアンスに Arcserve RHA エンジンモジュールをインストールするため、仮想アプライアンスにもライセンスが必要になります。

* この構成には標準版製品が必要です。
ファイルサーバ専用版はご利用できません。

* Amazon EC2 でも同様の構成をサポートします。

* Arcserve Replication では、フルシステム シナリオでクラウド上に仮想マシンを起動させることはできません。

Arcserve Replication と Arcserve Backupの連携



[24] レプリケーションしたデータをテープやハードディスクにバックアップ

環境例：複製元サーバ 1台
複製先サーバ 兼 バックアップサーバ 1台

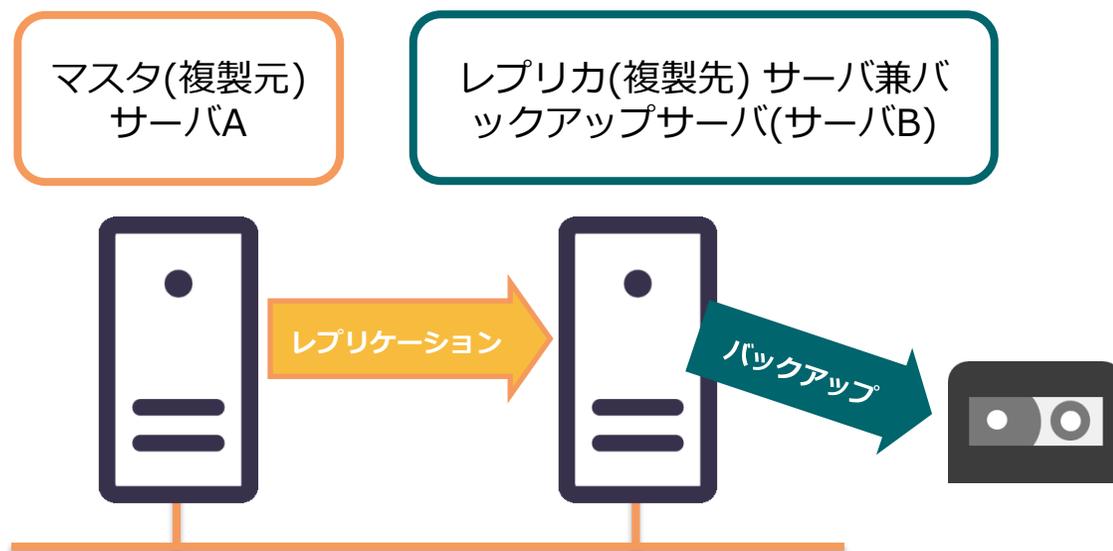
要件例：本番サーバの代わりに、Arcserve Replication で複製されたレプリカサーバのバックアップを行う

製品名	製品名	ライセンス数
Arcserve Replication	A, B	2
Arcserve Backup	B	1

Point :

レプリカで取得したバックアップを直接マスタ（複製元）サーバにリストアする場合は、Arcserve Backup Client Agent for Windows を購入し、マスタサーバにインストールしてください。

* Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition でも同様の要件を満たすことができます。





ライセンスガイド - Linux 環境 -



1. 購入するライセンスの数

基本的な考え方：

Arcserve Replication / High Availability のライセンス数 = マスタとレプリカサーバ（ノード）数の合計

Arcserve Replication / High Availability ではエンジンをインストールするノード、つまり保護対象となるマスタサーバと複製先となるレプリカサーバの合計数だけライセンスが必要です。

2. ライセンスの種類

フルシステム シナリオに利用する Linux 用のライセンスには以下の2種類があります。

1. Linux Server OS
2. Linux Virtual Machine

フルシステム シナリオのマスタサーバが物理マシンの場合は、Linux Server OS ライセンスを適用します。

マスタサーバが仮想マシンの場合は、Linux Virtual Machine のライセンスを適用できます。

レプリカ先の仮想アプライアンスには、Linux Virtual Machine のライセンスを適用します。



3. ライセンスの登録先

ライセンスの登録はすべてコントロール サービスで行います。
管理対象となる全シナリオに含まれるノード数でライセンス数が管理されています。
各ノードに個別にライセンス登録をする必要はありません。

4. 動作要件

Arcserve Replication / High Availability 18.0 を Linux 環境で使用する場合、以下の OS 上での動作をサポートしています。

- Red Hat Enterprise Linux
- CentOS
- Oracle Linux
- SUSE Linux Enterprise Server

* Linux環境の Replication / High Availabilityでは、コントロールサービス用の Windows Server が別途必要です。

最新の詳細な動作要件は Web サイトに掲載されていますのでご確認ください。

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-RHA-18-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja>



5. サポート対象外の機能

Arcserve Replication / High Availability 18.0 を Linux 環境にインストールする場合は、

フルシステム シナリオ のみサポートします。

Linux 環境ではファイル サーバ シナリオおよび Oracle Database シナリオは未サポートです。

Arcserve Replication / High Availability 18.0 には日本国内でサポートされていない機能もございます。

詳細は 以下の注意制限事項に掲載されていますので、事前にご確認ください。

<https://support.arcserve.com/s/article/2019042202?language=ja>

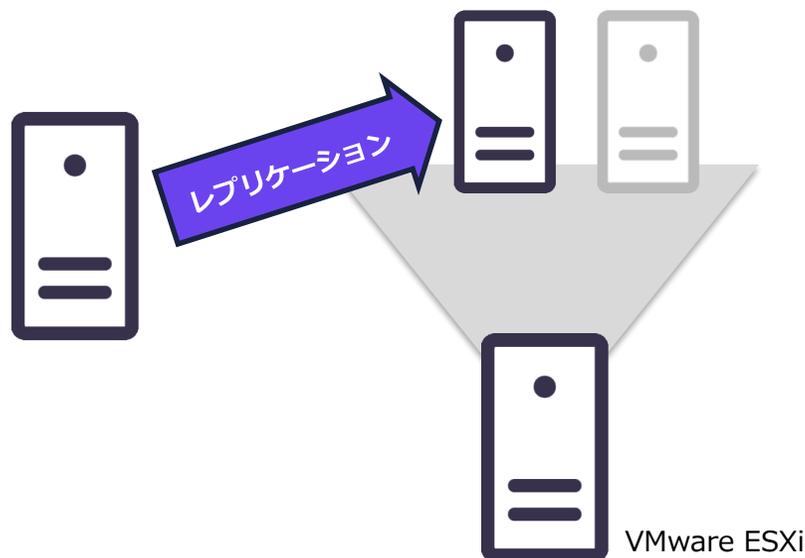
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[1] フルシステム シナリオのレプリケーション (VMware ESXi 環境)

環境例 : Linux サーバ 1台
仮想アプライアンス (Linux) 1台

要件例 : フルシステム シナリオで物理環境 Linux サーバを VMware ESXi 上に復元する
VMware ESXi 上の仮想アプライアンスにデータをリアルタイムに複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve Replication for Linux Server OS	1
Arcserve Replication for Linux Virtual Machine	1

Point :

フルシステム シナリオで、マスタサーバを丸ごと複製します。
VMware ESXi 上に Linux 仮想アプライアンスを構築し、その仮想アプライアンスに Arcserve RHA エンジンモジュールをインストールするため、仮想アプライアンスにもライセンスが必要になります。

これは、仮想環境/クラウド環境が、Microsoft Hyper-V、Amazon EC2、Microsoft Azure でも同様です。

* Linux 環境ではフルシステム シナリオのみ利用できます。
ファイル サーバ専用版はございません。

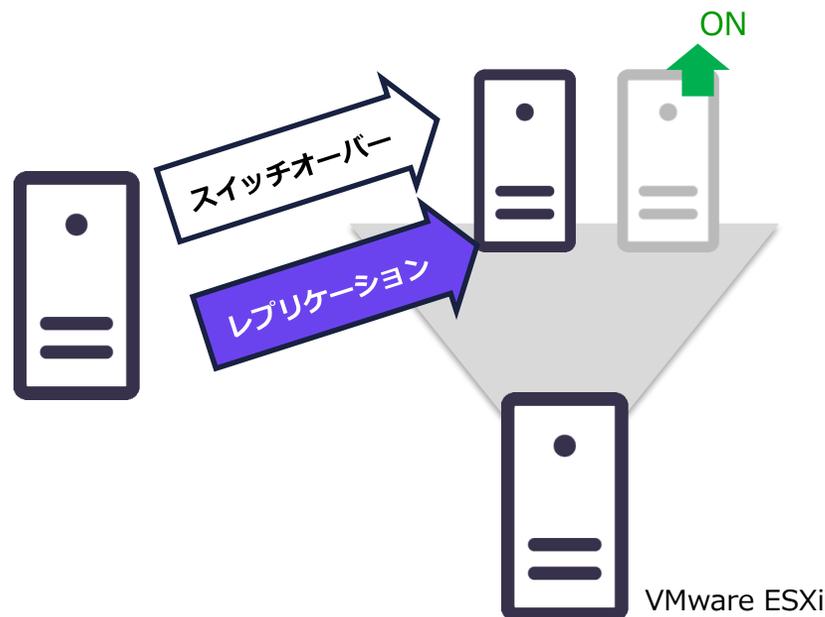
Arcserve Replication - 仮想環境で使用



[2] フルシステム シナリオでスイッチオーバー (VMware ESXi 環境)

環境例 : Linux サーバ 1台
仮想アプライアンス (Linux) 1台

要件例 : フルシステム シナリオで物理環境 Linux サーバを VMware ESXi 上に復元する
VMware ESXi 上の仮想アプライアンスにデータをリアルタイムに複製する



製品名	ライセンス数
Arcserve High Availability for Linux Server OS	1
Arcserve High Availability for Linux Virtual Machine	1

Point :

フルシステム シナリオで、マスタサーバを丸ごと複製します。
VMware ESXi 上に Linux 仮想アプライアンスを構築し、その仮想アプライアンスに Arcserve RHA エンジンモジュールをインストールするため、仮想アプライアンスにもライセンスが必要になります。

これは、仮想環境/クラウド環境が、Microsoft Hyper-V、Amazon EC2、Microsoft Azure でも同様です。

* Linux 環境ではフルシステム シナリオのみ利用できます。
ファイル サーバ専用版はございません。